


5. 消費者市民社会の構築 ～持続可能な消費の実践～

| | | |
|-----------------------------|--|--|
| 概要 | 人は日々さまざまなものを消費しながら生活している。人は皆、消費者であり、消費生活は暮らしそのものである。自分だけでなく周りの人々や将来生まれてくる人々の状況、内外の社会経済情勢や地球環境にまで思いをはせて生活し、消費者一人ひとりが社会の発展と改善に積極的に参画することが消費者市民社会の構築につながる。 | |
| 指導目標 | ・ 持続可能な消費について身近なところから考えを深め、自分にできることを見つけ、実生活で実践していくことができる視点、考え方を身に付けさせる。 | |
| 指導計画 | <p>[導入] 文化祭の模擬店での価格設定について意見を出す。</p> <p>[展開] ・ 文化祭で模擬店を出店すると想定し、価格に含まれる要素を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普段、商品を選ぶときの基準(優先順位)について意見を出し合い、その理由について考える。商品・サービスの選択には多様な基準があることを理解する。商品選択は自分自身がどのような基準を優先させるかによって決まり、販売企業への「経済的な投票行動」であることを理解する。 ・ 消費者市民としての行動のひとつであるフェアトレードのしくみや目的を知り、フェアトレード製品の購入が、自分や周囲の人、社会経済、環境などにどのような影響を与えるのかを考えるとともに、社会問題解決のために必要な視点を考える。 ・ フェアトレード以外にも考えられる消費者市民としての行動を挙げ、自分たちにできる「持続可能な消費の実践」となる行動を考える。 <p>[まとめ] 消費者市民として行動することが、環境保護や生産者の支援につながり、社会によりよい影響を及ぼすことを再確認する。</p> | |
| 時間 | 学習内容・活動 | 指導上の留意点 |
| 消費者市民社会ってな～に？ ワーク⑩ 教材⑩ | | |
| 導入 | 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化祭で模擬店を出店した経験について話し合う。 ・ 模擬店で何を販売したか、何を考えて価格設定したかについて自由に発言させる。 |
| 展開 | 30分 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 【ワーク⑩-①(1)】文化祭で模擬店を出店すると仮定し、何を販売するか、価格を決めるにあたり価格に含まれる要素には何があるか書き出す。 ・ 【ワーク⑩-①(2)a.b.】 a.模擬店で材料を仕入れるときの基準は何を優先するか、また、その理由についても考える。 b.普段、商品を選ぶときの基準は何を優先するか、また、その理由についても教材⑩-1を参考にしながら考える。 ・ 【ワーク⑩-②】教材⑩-2のフェアトレードの目的、内容と効果などを見て、商品を選ぶとき、さまざまな社会問題を改善するためにはどのような視点・考え方が必要かを書き出す。 ・ 販売する商品は、生徒に自由に設定させ、商品の違いにより価格に含まれる要素に違いがあることを認識させる。 ・ 基準は値段や味などのほか、ブランドやフェアトレードなど多様であることに気づかせるとともに、人や状況により、基準が変わる場合もあることを認識させる。 ・ 南北問題を通じて、自分たちが消費するものの製造過程などにある社会問題に気づき、自分の消費行動が周囲の人や将来生まれてくる人、地球環境や社会経済に影響を与えうること気づかせる。また、公正に取引された商品を |

| | | |
|-----|-----|---|
| | | <p>購入することは、「経済的な投票行動」であり、公正な企業を育てることにつながる。安全・安心な消費生活を送ることができる社会の実現につながることも理解させる。</p> <p>・【ワーク⑪-3】教材⑪-3を参考に、日常生活の中で、持続可能な範囲で自分にもできそうな消費者市民としての行動について意見を書き出す。</p> <p>・持続可能な消費を実現するための行動として、無理せず続けられる行動についてヒントを出し、考えさせる。環境や契約取引、製品の安全など、ジャンルを問わず意見を出すことで、幅広い視点に触れられるようにする。</p> |
| まとめ | 10分 | <p>・消費者市民としての行動とは自分だけでなく周囲の人や将来、社会へのよりよい影響を考慮して行動するということであり、消費者市民として行動することが、環境保護や生産者の支援につながり、社会によりよい影響を及ぼすことを再確認する。</p> <p>・持続可能で倫理的な消費行動は企業や社会をよりよい方向に導き、ひいては自身の利益に還元されることを確認する。また、倫理的消費という視点を持ち、他者・他国などの状況にも配慮することで、持続可能な消費の実践につなげられることを再認識させる。</p> |



こんな活用もできます

- ・文化祭で来場者等にフェアトレードを周知し、商品を紹介・販売する……特別活動
- ・フェアトレード商品を取り扱っていない企業に商品を取り扱ってもらうための文書を作成する……国語
- ・適正な取引をしていない商品・企業が市場に台頭すると、自分たちの生活にどのような影響があるのかを考え、その対応策を考える……公民・家庭
- ・持続可能な消費行動や視点を維持するために必要な社会のシステムやモチベーション維持のための工夫を考える(フェアトレード商品を購入するとポイントがつく など)……公民・家庭
- ・被災地や弱者の支援につながる消費行動を考え、実際に活動する……特別活動
- ・教材⑪-3 などを参考に消費者市民として自分たちにできる具体的な活動を実践する……特別活動